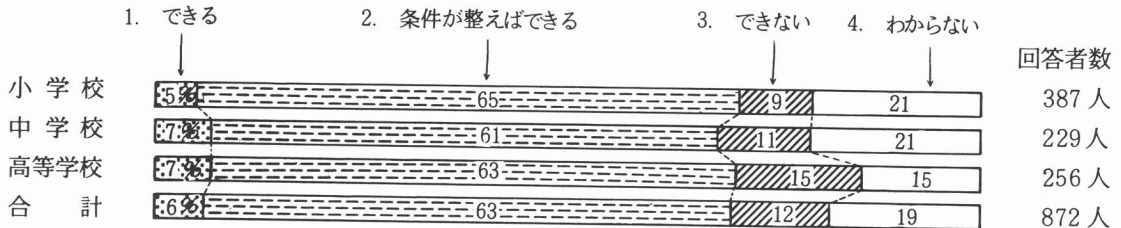


- 「強く感じる」「感じる」を合わせると、小・中・高等学校とも過半数を占めている。児童生徒の興味・関心を重視していこうとする傾向が見られる。
- 「あまり感じない」についての回答がかなりあることが目立っている。

② その方法は、実際に導入できると思いますか。

＜図3-9＞導入の可能性

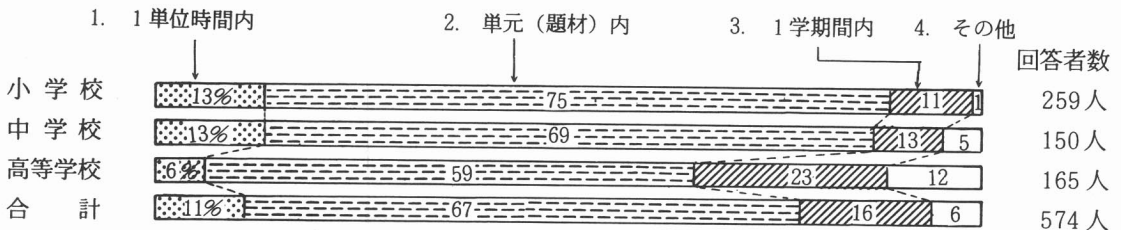


- 「できる」と「条件が整えばできる」を合わせると、ほぼ70%ができると回答している。児童生徒の興味・関心に即した学習をさせたいという願いの表れと受け止められる。しかし、その中でも「条件」ということが重要な意味を持つことになるが、「条件」については、学校、学級、児童生徒の実態からとらえ回答したものと考えられる。
- 「わからない」については、15%から21%と高い割合を示している。

③ その方法の導入が「できる」「条件が整えばできる」と答えた方は、以下に教えてください。

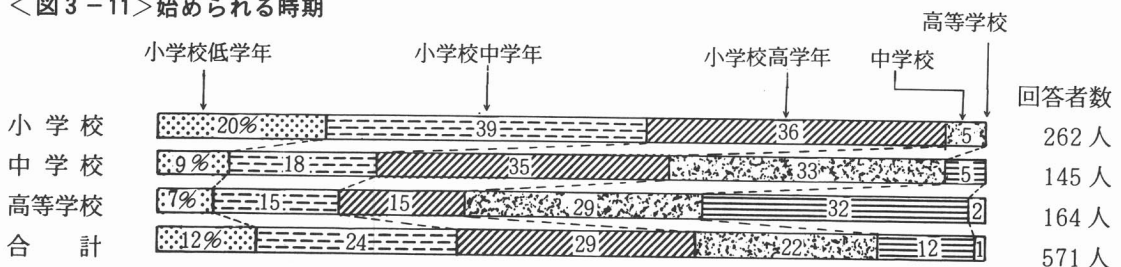
ア. どのような範囲ならばできると思いますか。

＜図3-10＞導入可能な範囲



- 小・中・高等学校ともに、「単元(題材)内」ならばできるという回答が最も多い。
- 「単元(題材)内」「1学期間内」ならばできるとする回答を合わせてみると、ある程度の期間が必要であるという傾向がうかがえる。
- イ. いつごろから始められると思いますか。

＜図3-11＞始められる時期



- 「始められる時期」は、小・中・高等学校間に差が見られる。
- 中・高等学校とも約30%がそれぞれの学校の時期から始められるとしている。